

# 株式会社舞浜倶楽部の

## 新社長にグスタフ氏が就任

株式会社舞浜倶楽部の  
総支配人として施設を運

し、グスタフ氏は日本に  
とどまった。

営してきたグスタフ・ス  
トランドル氏が二月一日

「介護業界に今回の経験  
を発信していきたい」と  
言う。

(水)、新社長に就任した。  
**就任のきっかけ**

「船長は船とともに」  
という言葉通り、どんな  
ことがあっても、この浦

**研修センターの立ち上げ**  
新社長就任同日、舞浜

東日本大震災直後、日  
本で暮らす多くの外国人

安市にある舞浜倶楽部で  
最高のケアを提供するこ  
とを目指していく決意が  
できた」と語る。

倶楽部 新浦安フォーラ  
ム内に緩和ケア研修研究  
センターを立ち上げた。

が本国へ帰国。グスタフ  
氏にもスウェーデンから  
外務省を通して帰国の要  
請があり、スタッフの多く  
は、グスタフ氏も帰国  
すると思っていた。しか

「震災直後、神戸の提携  
施設からポリタンクや毛  
布を送ってもらったり、  
地域で助け合って協力も  
できました。人と人と

研修センターでは、ス  
タッフがケアマネー  
ジャーや介護福祉士など  
の資格を取るためのプロ  
グラムを組んだり、ス



のつながりや絆の重要  
性を感じました。今後  
市内のネットワークが  
さらに強固なものにな  
るように、勉強会など  
を通して協力していき  
たいです」

「国レベルで、高福祉  
を目指していくことは難

また、震災を乗り越え、  
運営者として災害に強い  
施設の作り方を学んだと  
いうグスタフ氏のもとに  
は、講演依頼も多数ある。  
「介護業界に今回の経験  
を発信していきたい」と  
言う。



現会長(前社長)の六  
井元一氏は、「グスタフ  
氏が二年半前、総支配人  
として舞浜倶楽部の仲間  
に加わって以来、彼の下  
に人材が集い、育ってい  
ることを実感しておりま  
した。震災後も昼夜陣頭  
指揮を執り、現場のス  
タッフと共に影響を最小  
限に抑えてくれました。  
経営計画の実現を私も全  
力で支えていく所存で  
す」とコメントを寄せた。